

**吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定委員会 第2回  
議事要旨**

**【開催日時】**

令和2年9月14日（月）午後1時から午後5時まで

**【開催場所】**

吹田市役所南千里庁舎3階会議室

**【出席委員】** ※名簿順、敬称略

上甫木昭春（大阪府立大学名誉教授）

川口将武（大阪産業大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科専任講師）

藤本真里（兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授・兵庫県立人と自然の博物館主任  
研究員）

長村智司（一般社団法人フラワーソサイエティー会長）

井上寧（近畿税理士会吹田支部研修委員会税理士）

**【欠席委員】**

なし

**【公開・非公開の別】**

非公開（吹田市情報公開条例第7条第2号及び第4号に該当するため）

**【傍聴者の数】**

—

**【次第】**

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 書類審査
  - (2) プレゼンテーション及びヒアリング審査
  - (3) 答申
- 3 その他

## 【発言の要旨】

### 1 開会

#### <応募状況の報告（事務局による説明）>

公募手続の経過を説明。1者から応募があり、要件審査の結果、応募資格を具備していることを報告。

資料1 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定指針に基づく応募書類の要件審査結果

#### <選定方法及び審査の流れの確認（事務局による説明）>

選定指針の再確認、プレゼンテーション及びヒアリング審査の進行方法等を説明。

参考資料 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定指針

### 2 議事

#### (1) 書類審査

資料2 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者応募書類（副）

資料3 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定 評価点数表

#### <審議>

委員長

プレゼンテーションを受ける前に、委員会で共有しておきたいことや、気になったことなどはありますか。

委員

配点の根拠について確認したい。

事務局

市で統一した配点基準はなく、各選定委員会で決定することになっています。本選定委員会では、前回の選定委員会で決定したものです。

委員

1者しか応募がなかった要因はどう考えていますか。

事務局

現地説明会では、応募者以外にもう1者ありましたが、応募につながりませんでした。本施設の運営は、高い専門性が求められるため、一般的なアウトソーシングを扱う事業者にとっては、応募は難しかったと思います。

市としては、都市公園の指定管理業務を行っているような事業者や、公園運営に携わっているコンサルタントによる応募を想定していましたが、やはり通常の施設の維持管理だけでなく、企画運営が主体の本施設では、応募が難しかったと思います。

#### 委員

求められるものが高度なうえに、現地スタッフも置くというのは、難しいかもしれませんね。

#### 委員

プレゼンの時には、応募者にとっては、あまり儲けがない事業だと思うのに、手を挙げた理由を聞いてみたいです。また、人件費に対する考え方も聞いてみたいです。

#### 委員

安定的な運営が可能な財政的基盤について、貸借対照表をみて財政的に安定的かどうかを判断するため、流動比率、固定資産長期適合比率、自己資本比率について説明します。

流動比率は大きい方がよく、払わなければならない買掛金よりも現金をたくさん持っていて、資金繰りがうまくいっているかどうかわかります。この会社では217%なので、基本的にキャッシュをたくさん持っていると評価できます。

設備投資の妥当性として、固定資産の長期適合比率について、建物や土地といった固定資産は長期の借入金で賄われていることが望ましいので、この数値は低いほどいいということで、この会社は31%です。100%以下ならよいと評価できますので、固定資産の資金繰りもうまく回っていると思います。

自己資本比率は、返さなくてもいい元手のお金、資本を経験則上は33%以上あればいいとされ、この会社は54%ありますので、安定的な財務基準で運営されています。

これらの基準は、大阪府の社会福祉法人の認可基準に使われており、基本的にこれで妥当と考えています。

先ほど委員からお話がありました、会社にとって儲けることができるかについて、指定管理委託料は上がることがなく、むしろ将来的に下がることもありますので、運営的には厳しいと思います。ただ、この会社は100億円の売上有るので、そのうちの2500万円の業務受託は、役所から仕事を受けるという社会的な信用としての意味が会社にとってはあると思います。また、役所の仕事は貸し倒れがなく、必ずお金が入ってくるのは、会社にとってありがたいと思います。

#### 委員

売上100億円の会社が2500万円の事業を受けるのは、儲けではなく次の事業展開に関係するのかなと思いますが、類似する事業の規模は資料から読み取れますか。

委員

部門ごとに売上が書かれていないのでわかりません。

指定管理者施設の運営に参加する団体は、儲けるというのは2の次で、自らのノウハウを活用することが大きいかと推測します。

委員

委託料の総枠が役所として増やせないのであれば、社会ニーズに対応してやっていく内容を議論しないといけないと思います。市は、なんでもかんでもやっていくのではなく、事業を重点化していかないと、業務だけ増えて金額が上がらないのはやっていけませんね。

委員

財務状況については、満点と評価していいのでしょうか。

委員

売上自体、来年どうなるかわかりません。この会社は150億円の売上がありましたが、今は100億円になっています。会社の経営は来年のことは誰もわかりません。

委員

この業務は、単なる施設の維持管理ではなく、またソフトの比重が非常に大きいので、市役所の関わり方を考えないといけないと思います。担当者が異動したとたん業務が止まるようでは困ります。この5年間の運営の中で、市との役割分担について、現場の課題はありますか。

事務局

業務の性質上、企画することが多く、業務が属人的になりがちなので、市も指定管理者も、できるだけ業務が特定の職員に偏らないように、ノウハウを共有することが課題だと思います。

最近では、指定管理者との情報共有を進めるなかで、業務の方向性については共有できるようになっていると思います。

委員

一方で、なれ合いにならないようにするには、どうすべきと考えていますか。

事務局

指定管理期間の2年目と4年目には、選定委員会に第三者モニタリングをお願いしていま

す。その中で多様な角度から御意見をいただきますので、指定管理者には、市とともに施設の運営改善に活かすという姿勢や意欲を見せていただきたいですし、チェックする機会があると思います。

#### 委員

市役所の役割が大切で、市はチェックする機関ではなく、一緒に作っていくような姿勢が大事です。また、中長期的なことを相談できるような外のメンバー、例えば大学とか、また必要に応じて地元とか、そんな組織体制で市役所が指定管理者を応援していく仕組みが必要だと思いますが、そのようなものはありますか。

#### 事務局

どんな会議体を作りなさいということは特に定めていませんが、市内にはいろんな大学がありますし、多様な主体と連携する仕組みづくりについては、市役所も考えていきます。

指定管理者には、多方面との協働を提案していただくようなことを求めたいし、市も積極的に行いたいと考えています。

#### 委員

公園の部署だけでなく、まちづくりの部署との連携も大事です。市の内部の連携はたいへんだと思います。ぜひそちらのトライも必要かもしれませんね。

#### 事務局

市もしっかり取り組んでいきますし、指定管理者には知見やノウハウを期待したいと考えています。

#### 委員

指定管理者の職員の給与が、長期間上がらないというのは、いかがでしょうか。業務の内容に応じた報酬になっているのか、応募者に聞いてみたい。

#### 委員

むしろ、この施設が、そもそも指定管理者による運営が適切なかどうかについて、議論する余地があるかもしれません。

#### 委員長

それでは、書類審査を終わります。

## (2) プレゼンテーション及びヒアリング審査

資料2 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者応募書類(副)

資料3 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定 評価点数表

委員長

プレゼンテーション及びヒアリング審査については、事務局で進行をお願いします。

### <応募者によるプレゼンテーション>

### <ヒアリング審査>

事務局

質疑応答をお願いします。

委員

すいた公園「つかう」プロジェクトを実施する公園はだいたい決めているのですか。

日比谷アメニス

今までは江坂公園や千里南公園がメインでしたが、スタッフが市内を見回ったところ、これから活動の可能性がある公園がいくつかあると感じています。

委員

まだ積極的には入っていないのですか。

日比谷アメニス

何かをやりたい人の意向を受けてサポートするというのが今までの姿勢でしたが、これからは、もう少し一歩前に出ようと思っています。特に、昨今のコロナ禍では、公園で何かイベントをするのはリスクがあると感じられていますが、そこを一歩前に出ることで、やりかたを試行錯誤していけるのではないかと考えています。

委員

人員的には可能ですか。

日比谷アメニス

江坂が千里に統合され、全体の業務ボリュームが下がりますので、今回のプロジェクトを動かすのにふさわしいスタッフを残しつつ、今の2館運営体制より少し人員を絞り込みます。千里で行ってきたまちのみどりに関する業務ウェイトが大きくなりますので、スタッフ

はそれにあわせた構成にします。

#### 委員

すいた公園「つかう」プロジェクトと、はなみどガーデンセミナーは、これからどのように展開していきますか。5年間の実績から見えてきたものはありますか。

#### 日比谷アメニス

市内の公園で何かをしたいプレイヤーの方は、自分が扱いやすい公園をフィールドとして見ておられます。例えば、子育て系ですと、千里北公園を使いたいという方がご相談に来られていますし、コロナ禍でお店の営業が難しくなった方からは、実店舗の近隣の公園で展開したいというご相談を受けていますので、そのようなお声を拾いながら、公園の規模や周りの環境を考えて、ひとつひとつマッチングしていこうと思います。

#### 委員

そういうことはプラットフォームの中で仕掛けるというのが、次の実践の段階では重要だと思いますが、それについての方針はどうお考えですか。

#### 日比谷アメニス

みなさんに、こういうものを目指していると事例としてお見せしていかないとわかりませんので、具体例をひとつひとつ作りながら、子育て系ならここでこのようなことができますか、マーケットならこんな場所とか、日本中での事例をまずは我々が勉強しつつ、そんな情報を見せながらやっていきたいと思っています。

#### 委員

コラボの中でお見せしながらつながっていくようなイメージですね。中心になる人を見つけられないといけませんね。

#### 日比谷アメニス

昨年からはなみど「つかう」セミナーを開催しているのですが、意識を持った方たちが、その後にはなみどにアプローチしていただいていますので、そのあたりから具体的に組みんでいこうかなと思っています。本当は今年それをやりたかったのですが、コロナで止まってしまいましたので、もう一度社会状況を見ながら取り組んでいきたいです。

#### 委員

花とみどりに係る活動支援というのは様々なものがあり、これを全てやると、予算や人員の制限もありますので、うまくプロジェクトで内包しながらやっていくとか、行政と相談し

ながら業務の整理もしていく必要があると思いますが、そのあたりのお考えはいかがですか。

日比谷アメニス

確かにかなり幅広な業務だと感じています。園芸相談や講習会といった今までの緑化啓発の業務が入っていますので、継続して網羅していくつもりですが、今後、行政と業務を進める中で、力の入れようは整理していきたいと思います。まだまだ市民の方は、身近な園芸相談や講習というのがいいという方もおられますが、量としては減ってきていると感じていますので、新しい緑化啓発施設のあり方として、市はまちづくり系にシフトされていますので、予算のかけかたをはっきりさせておいた方がいいかと思っています。

委員

新たなプレイヤーを発掘する具体的な方法はありますか。また、公園協議会についてどのように考えていますか。

みどりからのまちづくりを考えた中で、市のどのような部署が入って欲しいとか考えがあれば教えてください。

日比谷アメニス

プレイヤーの発掘について、我々の今までのやり方は、どちらかというと待ちでした。情報センターではこういった取組をしているので、やりたい人は手を挙げてくださいといったパターンだったのですが、セミナーをすることでそういう意識のある人たちが来てくれるということが見えてきたので、これからは、そういった場をつくる、そういった人たちが興味をもってくれるような講習とかセミナーとかをします。公園「つかう」プロジェクトでイベントをしていると、興味を持ってプレイヤーになりたがってる人が来てくださる。そこでのちょっとした会話から関係性が生まれる気がします。あと、SNSで情報を出すと興味を持った方が来てくださるので、今まではそこまでしていませんでしたが、取り組んでいることを情報発信した方がいいと思います。

公園協議会については、市が取り組もうとされているこれからの公園管理ということですので、呼ばれたら参加するスタンスではありますが、公園「つかう」プロジェクトにも関わることですし、協議会に入られる地域住民さんや、何かをしたがっている人たちにもぜひ入っていただいて、我々が運営に関わるというのは、もしかしたら違うかもしれませんが、1プレイヤーとして公園を面白く活性化していこうとする人たちとやっていきたいです。

地域住民さんとの関係づくりは難しいところですが、やっていかないといけませんし、管理者と行政と市民との図式の中で、我々がやるとしたら、その中のプラットフォームとしてフラットなスタンスで、市全体の中でこの公園の役割はこうですと、そんな立場でやっていけると思います。



## 委員

公園の中にカフェができたことについて、どう評価していますか、今後の展開や期待することはありますか。

## 日比谷アメニス

たくさんのお客さんが来られていることは見ていますし、公園の駐車場とカフェまでの人手が増えたこともわかります。関大の学生さんたちと一緒に調査していることですが、公園全体に波及しているかというとなかなか感じられませんし、彼らがアンケート調査をしているのですが、そこに来る人は公園に来ているという感覚ではなく、カフェに来ているという感覚だと思います。カフェがあることを公園の価値につなげるということを、カフェ運営者は今は儲けることに必死ですので、我々が第三者のような立場に関わるのがいいと思います。そこを使っている市民の意見を我々が吸い上げて反映させることができると思います。カフェの運営者は多分そこまではできていませんが、市への提案の中で公園のために何かすると言っていると思いますので、我々との関係の中でうまく活性化できたらいいと思っています。店長さんとはおつきあいを始めていますので、そこにつなげたいと思っています。可能性はあるのではないかと考えています。

## 委員

長居公園での園芸相談は、昨年以降、特にコロナがあってから来客数が増えています。若い親子連れが非常に多いです。これはスタッフがかなり広報活動を重視していて、植物のことを知らない人と植物園に行ったらいけないというのではなく、結婚式をしたり、カフェをデートスポットにしたりして、多様に使われています。このような情報はSNSでキャッチするようです。

上手く広報活動をすると、今までとは違うニーズを取り込めます。吹田市だったらどんな人たちが来て、何をしてくれるか楽しみです。

## 日比谷アメニス

多くの方がコロナ禍で遠くに行けないというのがありますが、身近な公園が見直されている感じがあり、SNSや仲間同士での情報拡散がされています。今までは遠くの大きな公園に行っていた人が身近な公園に戻ってきています。今年から、SNSを活用しながら、身近なみどりの魅力について、市民の中から情報発信していただけるようなことをしています。

## 委員

そのような情報発信業務を担えるようなスタッフを持っていますか。

日比谷アメニス

スタッフをスキルアップすることで、担当者として配置しています。SNSは炎上などの危険性もはらんでいますので、そのような情報を収集したり講習に行かせてスキルをつけさせています。

最近始めているのは動画配信です。オンラインを使った講習など、園芸系の活動はそちらにシフトしていくことで、業務バランスを変えていこうと思います。

委員

提案書では、シンクタンク機能的なことの情報発信については、大学との連携において展開することとしています。はなみどの取組は全国的にもオリジナリティの高い内容だと思いますので、自ら発信していくのがいいと思いますが、発信できるようなスタッフが育ってきていますか。

日比谷アメニス

これまでは、情報センターでは特徴的なことをしていますので、例えば造園学会や都市緑化植物園全国大会などで発表の機会をいただいて話をさせていただいたり、ポスター参加したりしてきました。これはこれからも続けていきたいです。

スタッフの育成については、会社としての取組として、同じ部内で情報を共有しながら、次の所長を育てることに取り組みたいです。

委員

部内というのはどんな組織ですか。

日比谷アメニス

大阪支店にコミュニティサービス部というのがあり、このような指定管理の案件を扱っているPPP事業は、大阪支店だけで今年度は10件、それぞれに所長がおり、その下にも副所長を育てているところです。今までは固定していましたが、横の展開で技術を継承していきたいです。東京でも多くのスタッフを抱えており、社内の広報誌で毎年情報共有をしています。そんなことをしながら次の所長を育てていきたいです。

委員

大阪支店で10施設とのことですが、スタッフが別の現場に行くような研修をする仕組みはありますか

日比谷アメニス

あります。ここで培った力を伝えていくことを、所長レベルではなくスタッフレベルで行

っています。市民協働の取組やイベントに、SNSを担っているスタッフが現場に行ったり、ほかの公園でのイベントのヘルプなどをして共有しています。

毎月1回、社内のコミュニティサービス部の所長クラスの会議をしていますので、情報共有により生かしていきたいです。

委員

そこの部の人は何歳くらいですか。

日比谷アメニス

所長クラスですと30代から50代です。

日比谷アメニス

女性の責任者は2名います。スタッフの年齢層は幅広いです。もっと高齢の者もいます。

委員

日比谷アメニスとしては、数字的には儲かっていると思います。仕事を受ける実績により会社のブランド力を上げることはあるとは思いますが、どう考えていますか。

日比谷アメニス

5年前にも同じ質問を受けました。この案件については特殊な業務で、我々が今まで経験したことがないものなので、経済効果は大きくはありませんが、ぜひやりたいと申し上げました。今回の業務により、スタッフの成長や社全体への波及効果といったものがありました。研究機関的なことができるという捉え方をしています。

次の5年間も、できればもちろん経費を落として、会社の経営に寄与したいところですが、人件費の高騰や委託料の上限もある中で、できることを工夫しました。

委員

計画を見ると、上納金とかないですからね。

日比谷アメニス

本部経費というところである程度、確保しています。

委員

人件費が一定で上がっていませんが、会社としてはどう考えますか。

日比谷アメニス

個人に犠牲を強いることはしていません。本部経費も含め、委託料全体の中で考えています。

#### 委員

センターでの自主事業では、少なからず収益につながるようなアイデアがあれば画期的ですが、その可能性はありますか。

#### 日比谷アメニス

公園での自主事業であれば、イベントを展開するなど収益の可能性はありますが、センターにはフィールドがありませんので、細々と物販をしていくしかないと思います。

#### 委員

先ほど公園で結婚式とかお話がありましたが、日比谷アメニスの企画力を生かした事業は考えられますか。

#### 日比谷アメニス

指定管理料をいただいて実施する公園「つかう」プロジェクトをベースに考えていますので、確におっしゃっていただいているように、自主事業を実施することで、公園での何かの展開が期待でき、センターの事業に寄与することとして許されるなら、考えられなくもないかもしれません。市から公園の使用料の免除が受けられるかというのがあります。市がこれから取り組む公園マネジメントの実証実験として、はなみどがやってみる可能性はあります。

#### 委員

市への意見になるかもしれませんが、公園はパブリックな場なので、子育て系とかマーケット系に主体的に参加される方をどう掘り起こすかという視点もあるのですが、お年寄りが近所の小さな公園に集まってラジオ体操をすとか、子供さんが遊ぶような小さな公園もありますよね。楽しさやお金を儲けるというのがあるのですが、高齢者や子供さんにとっていいと思われる公園が、吹田市にあればいいなと思います。

また、公園は私たちにとって当たり前のように存在していますが、税金でできています。税金の使い方を考えたときに、学校や病院、ダムとあわせて、公園もあり、これらは公益のものであるということをベースに考えていくのがいいと思います。

#### 日比谷アメニス

これはコロナ禍でまさに我々が感じたことで、今までお年寄りが昼間、公園を使っていたところに、自粛生活になった若い人たちがその時間帯に公園を使うようになって、いろんな

軋轢が出てきてしまいました。本来、公園は誰が使ってもいい場所なので、みんなで譲り合いながら使っていないといけないというのが、これからの取組の考え方だと考えています。

単に、賑やかになればいいという公園のつかい方ではなかったということに改めて気づきました。コロナ禍にあって海外では、公園を管理運営している人はエッセンシャルワーカーであると言われていました。我々も含め、なかなか日本ではその意識がありませんでした。公共を下支えているインフラを管理しているという意識をもう一度持ち直して公園を見直す必要があります。利用と運営のバランスのいい落としどころが見えないことに気が付き始めています。しかし、そこを大事にしたいと考えています。

委員

コロナ禍での苦情はどんなものがありましたか。

日比谷アメニス

密になって騒いでいる、マスクもしてなくていいのかといった近隣の方のお声がありました。

事務局

以上でヒアリング審査を終了します。

日比谷アメニスさん、ご苦労様でした。

<応募者退出>

委員長

では、2回目の評価をお願いします。

事務局は集計してください。休憩に入ります。

【休憩】

<委員間討論>

委員長

委員会を再開します。皆様の2回目の評価点数を集計した資料をもとに、委員間討論を行います。この資料について、事務局から説明してください。

<事務局による説明>

委員長

2回目の評価点数の集計結果を見て、60点未満をつけた方がおられないということで、皆様が日比谷アメニス候補者として問題がないとお考えであることがわかりました。

何か共有したいことはありますか。

委員

これから5年間運営される中で、人が代わっても当初の提案通りかどうか確かめるシステムがないといけませんね。本日、プレゼンをした職員はセンターに配置されるのですか。

事務局

本日のプレゼンテーション及びヒアリングは、センターに配置予定の者が行うこととしています。

委員

ただ、同じ職員が5年間ずっとセンターに配置されるとは限りませんしね。

委員長

付帯意見という扱いはできますか。

事務局

答申とは別に、今後、指定管理者になる者に意見を伝えることは可能です。

委員長

せっかく委員にお集まりいただいていますので、これからの5年間について、特に言っておきたいことが何かありましたら。

委員

今回は1者しか応募がなかったが、なぜだろうか。

事務局

委託料としてはあまり魅力がなかったかもしれません。昨今、都市公園の指定管理でも、維持管理だけでなく、公園の運営が必要とされているところですが、ノウハウを持っている事業者は、まだ必ずしも多くないのかもしれません。

## 委員

府営公園の指定管理をしている財団法人なら、赤字にならないければ手を挙げるかもしれません。ただ、なかなか事業としては魅力がないのかもしれない。近隣の市とも連合体を組むなどの方法もあるかもしれません。

## 委員

管理運營業務基準にあります、地域での花のまちづくり活動の活性化について、花とみどりに関する市民活動が活発になるような事業とありますが、それはまちづくりのひとつであって、市役所として市民参画・協働によるみどりのまちづくりというときに、それをどう捉えるかが課題です。

まちづくりを担うべき地域の組織が元気になるべきでしょうが、どこも担い手が高齢になって大変で、でも役割は増えてきています。そこが元気になるように、市役所がみどり施策で応援するということが大切です。みどりのまちづくりを標榜するのであれば、他部局、まちづくり部局との連携がとても大切です。

みどりはみんなに愛されるので、公共に関わるきっかけとしてはとてもいい効用がありますが、みどりが好きな人がただ集まって、みどりのイベントをやって活性化していますというだけでは、みどりからのまちづくりとは言えません。

そこは指定管理者ではなく、市役所が、みどりのまちづくりをどう捉えて中長期的にどこを目指しているのかを考えてほしいです。

それをこの5年の間の第三者モニタリングにおいて、市役所からも考えを示していただくと、相乗効果があっていいと思います。この施設はとても新しいことをやっているのですから、第三者モニタリングでは、チェックするというより、みんなでビルドするという場として位置づけて、もっと良くするにはどうすべきかを議論したいです。

## 事務局

指定管理者制度は、元々、公の施設を管理することで始まったのですが、花とみどりの情報センターの指定管理は、業務の内容や回数を指定する仕様発注だけではなく、性能発注的なものを盛り込んでますので、どう展開してもらうかは、発注している市役所自身の思いや意欲がベースにないといけないと思っています。

他部局で、地域活動を支援している部署や、まちの賑わいを推進する部署と連携し、市役所の中で公園部局の情報をしっかり発信して、他部局からの参加を求めていきたいと思っています。市内の活性化もしっかり考えて取り組んでいきたいと考えています。

まちづくりの中でも、公園の草刈りやごみ拾いというのはすごくわかりやすいですし、ボランティア活動としては入門編として、とても参画しやすいと思います。その活動の中で、参加された方に地域の課題を知っていただき、もっと深く地域に関わっていただけるようになれば、どんどんいい効果が起こってくると思います。

## 委員

今回の日比谷アメニスの提案は非常に面白い方向を向いていると思います。公園のこれからのあり方や、まちづくりの中での意味を、もう一度考えていこうというスタンスだと思います。

これから人口減少や高齢化で、ますます地域福祉が大切になってきます。地域での様々な活動をうまく活性化し、元気に気持ちよく過ごせる状態を地域でつくっていくために、公園が何を果たせるかです。みどりのまちづくりではなく、みどりからのまちづくりなんです。

まちづくりには、環境・社会・経済といったものに関わる様々な活動や資源が統合的に展開されるべきと思っています。少なくともコミュニティに関わる活動や、地域の環境を守っていく活動、みんなが元気になる活動もあることを考えると、公園というもののつかい方はもっと多様であるはずで、今回の提案では、それを引っぱり出そうとしているのだと思います。引っぱり出されてきたものから、公園のあり方を探っていき、行政の施策での方向付けをしていただくことが必要です。

公園部局だけでやってもなかなか難しく、関係部局との連携で、公園の活用の仕方や地域マネジメント、すなわち、まちづくりのために公園がどんな可能性があるのかを探そうとしていることだと思います。

みどりのまちづくりプロジェクトを3つくらいにテーマを絞ったときに、ほかのプラスアルファというのは、なるべくそれに内包化して、集中と整理をやりながら新たな方向性を行政と一緒にやって欲しいです。

それを第三者モニタリングで、議論していくと面白いです。細かいチェックよりも前向きな議論をしたいです。

## 事務局

園芸相談くらいであれば、ホームセンターなど民間商業ベースで、すでにやっていることですので、行政としては、もっと広がりのあるところに取り組むフェーズになっていると思います。今回、それが江坂花とみどりの情報センターを千里花とみどりの情報センターに統合させた、ひとつの理由になっています。

## 委員

これから専門家の意見を聞くにしても、起業している人や全然違う分野の人を呼んで勉強して、公園でリモートワークができるとか、こんなことができるということを発信したら面白いかもしれません。公園で小さなビジネスを育成するというのもあるかもしれません。市民の人材がたくさんいる吹田だからできることがあると思います。

## 委員



プロジェクトの中で、公園を使っているプレイヤーだけでなく、公園をこう活用したいという人を引き出していくというのも面白いです。

かつて堺市では、市民協働のアイデアやプロジェクトに助成金を出していましたが、公園を使うというアイデアはとてたくさん出てきました。子供の遊び場、福祉や健康、子育て中の人を対象としたものもありました。

公園とか自然とか環境だけの考えでなく、お料理をする人やミュージシャンであれば、そんな使い方もあるだろうし、色んな可能性があります。そんなアイデアを募るのも面白いです。

#### 事務局

健都レールサイド公園は、健康をひとつのテーマとして、活用のフィールドとしています。これを今後5年間で展開していきたいと考えています。

#### 委員

リハビリの専門家による公園を活用した予防医学を、吹田市でできるというのはいいと思います。

#### 事務局

まさに健康医療部がそんなことを展開していきたいと考えています。他部局との連携としてそんなことをしていきたいです。

いろんなまちづくりの入門編として、公園を活用していきたいです。

#### 委員

健都レールサイド公園は、まだまだ木が育っていませんが、これから30年かかって憩いの場所になるでしょう。

### (3) 答申

#### 委員長

これからの展開について、色んな御意見をいただいたと思います。

これらの議論を踏まえて、最終評価点について、皆様、修正の必要はありますか。

なければ、この評価をもって、日比谷アメニスに指定管理者候補者として選定するという  
ことで、異議ないですか。

(委員全員 異議なしの声)

それでは、これをもって答申といたします。  
みなさん、御審議ありがとうございました。

今後の流れについて事務局からお願いします。

### 3 その他

#### 事務局

御審議ありがとうございました。本日の答申を受けまして、市として指定管理者候補者を決定し、11月定例会での議決を経て、年明けに正式に指定していきます。

審査結果につきましては、内部決裁終了後、市のホームページで公表する予定です。

公表内容は、委員名と評価点数が結びつく形では公表いたしません。委員名簿、議事要旨、最終評価点集計表は公表いたします。事前に委員の皆様には内容をお示しいたします。

また、報道等の対応は事務局で行います。

閉会にあたりまして、本選定委員会の事務局であります、公園みどり室担当理事の松本から、お礼を申し上げます。

(松本理事お礼)

#### 閉会